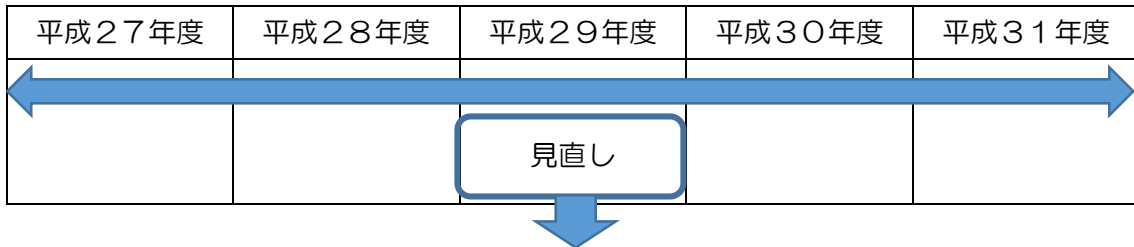


○「子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～」

1、計画の概要

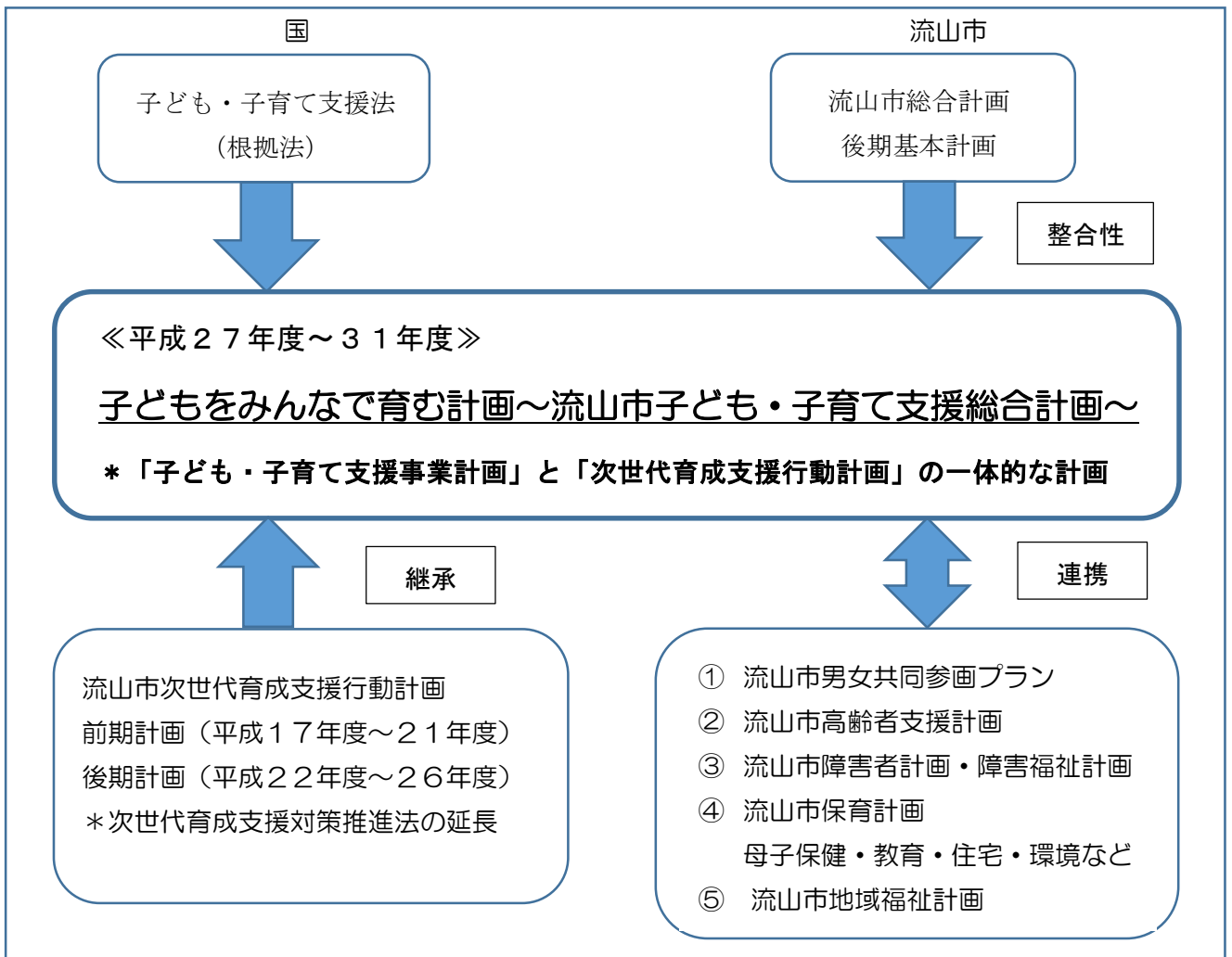
(1) 計画期間

本計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間で1期として策定し、中間年度（平成29年度）に計画の見直しを適宜行うこととなっています。



本市は、急激な人口増加や待機児童の増加により、今年度見直しを行います。

(2) 計画の位置図



本市にあるもの

(3) 施設及び給付の種類

| | | |
|----------------------|---|------|
| 教育・保育施設 (施設型給付) | 幼稚園 | 公立のみ |
| | 保育所 | ○ |
| | 認定こども園 幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設 | |
| 地域型保育事業 (地域型保育給付) | 家庭的保育事業 (定員5人以下) 家庭的な雰囲気のもと、少人数の保育を行う事業 | |
| | 小規模保育事業 (定員6～19人以下) 少人数を対象に多様なスペースで保育を行う事業 | ○ |
| | 居宅訪問型保育事業 障害など個別のケアが必要な場合などに保護者の居宅で、1対1で保育を行う事業 | |
| | 事業所内保育事業 会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育する事業 | |

*地域型保育事業とは、市の認可事業として位置付けられた事業で、原則的に3歳未満の保育を必要とする子どもを保育する事業です。

*本市の私立幼稚園は、施設型給付を受けている幼稚園はありません。(私学助成等)

(4) 保育の必要性の認定

市は、保護者の申請を受け、客観的基準に基づき、保育の必要性を認定したうえで、給付を支給する仕組みとなっています。

| 区分 | 対象者 | 主に利用する施設・事業 |
|------|---|-------------------------------|
| 1号認定 | 満3歳以上の学校教育のみの就学前の子ども (保育の必要性なし) | 幼稚園 認定こども園 |
| 2号認定 | 満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども (保育を必要とする子ども) | 保育所 認定こども園 幼稚園(預かり保育利用) |
| 3号認定 | 満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども (保育を必要とする子ども) | 保育所 認定こども園 地域型保育事業 |

(5) 地域子ども・子育て支援事業（13事業）

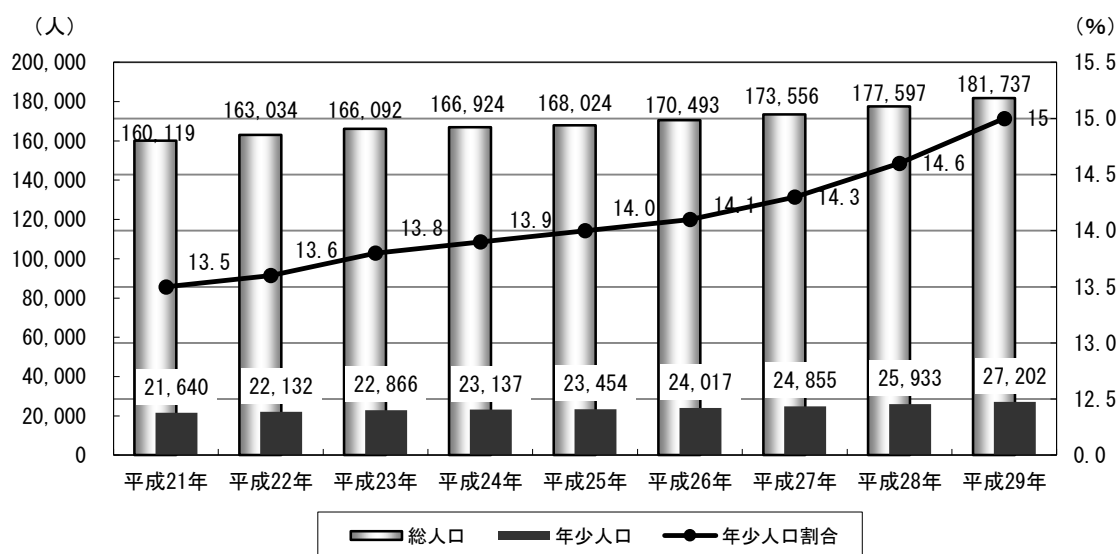
- ①放課後児童健全育成事業（学童クラブ）
- ②延長保育事業
- ③子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）
- ④地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）
- ⑤一時預かり事業
- ⑥病児保育事業（病児・病後児保育事業）
- ⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）
- ⑧乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）
- ⑨養育支援訪問事業その他要保護児童等の支援に資する事業
- ⑩妊婦健康診査
- ⑪利用者支援事業（子育て支援総合窓口事業）
- ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

3 流山市の現状

(1) 総人口と年少人口の推移

流山市の人口は、平成29年4月1日現在、181,737人で、前年と比べて、4,140人増えていて、毎年、増加傾向で推移しています。また、年少人口（15歳未満）は、27,202人で、前年と比べて、1,269人増えていて、さらに、年少人口割合も大幅に増えています。

今後も、おたかの森地区等の区画整理の進捗状況等の影響により、さらに、人口が増加していくことが予想されます。

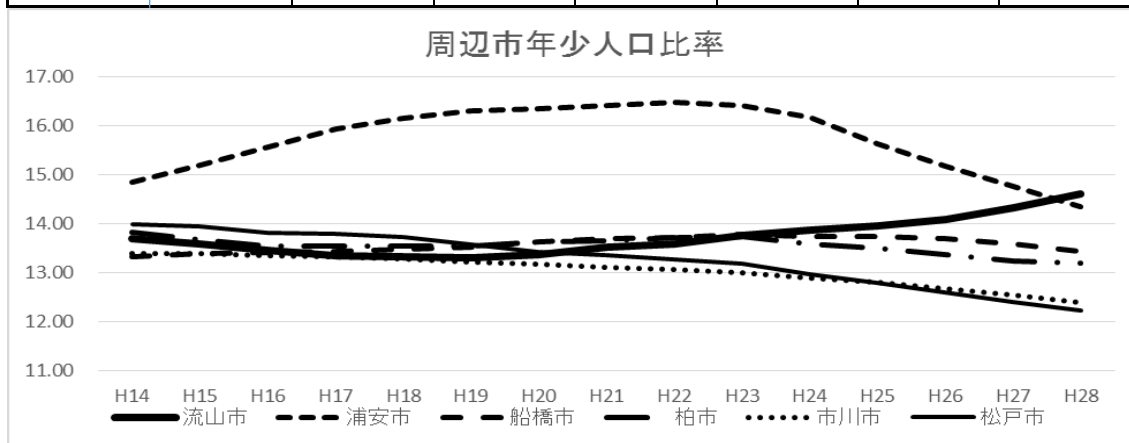


資料：千葉県 年齢別町丁別人口（各年4月1日現在）

* 周辺市年少人口比率の比較表

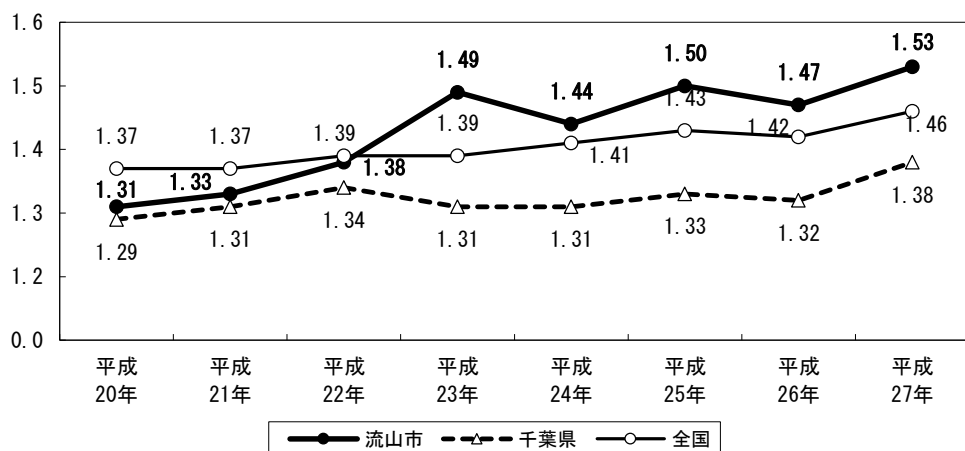
周辺市のいずれも、年少人口比率が年々減少傾向にありますが、本市は、右肩上がりになっています。

| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 流山市 | 13.58 | 13.77 | 13.86 | 13.96 | 14.09 | 14.32 | 14.60 |
| 浦安市 | 16.48 | 16.42 | 16.17 | 15.64 | 15.18 | 14.75 | 14.35 |
| 船橋市 | 13.72 | 13.77 | 13.73 | 13.73 | 13.68 | 13.58 | 13.42 |
| 柏市 | 13.71 | 13.74 | 13.59 | 13.50 | 13.36 | 13.24 | 13.19 |
| 市川市 | 13.05 | 13.00 | 12.89 | 12.81 | 12.67 | 12.54 | 12.39 |
| 松戸市 | 13.27 | 13.19 | 12.96 | 12.79 | 12.59 | 12.40 | 12.22 |



(2) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率（女性が一生の間に産むと考えられる子どもの数）の推移をみると、平成27年は、1.53で、前年と比べて大幅に増加し、依然として、県及び全国の数値も上回っています。

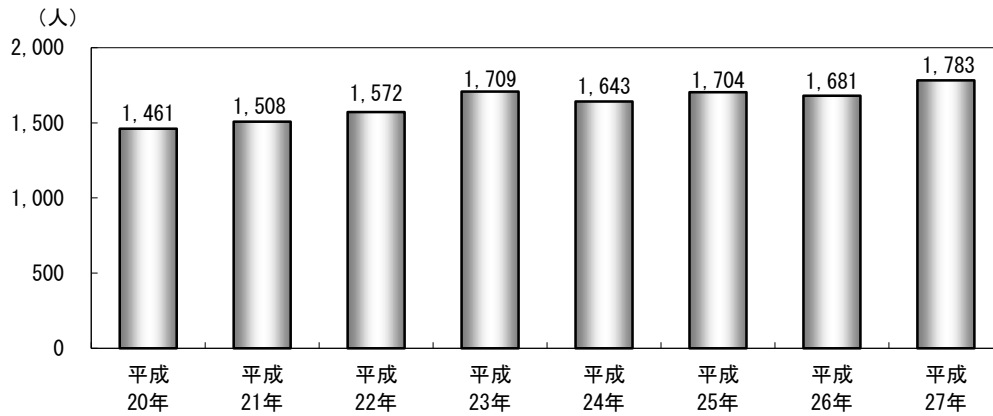


資料：千葉県人口動態統計（各年12月31日現在）

(3) 出生数、出生率の推移

①出生数

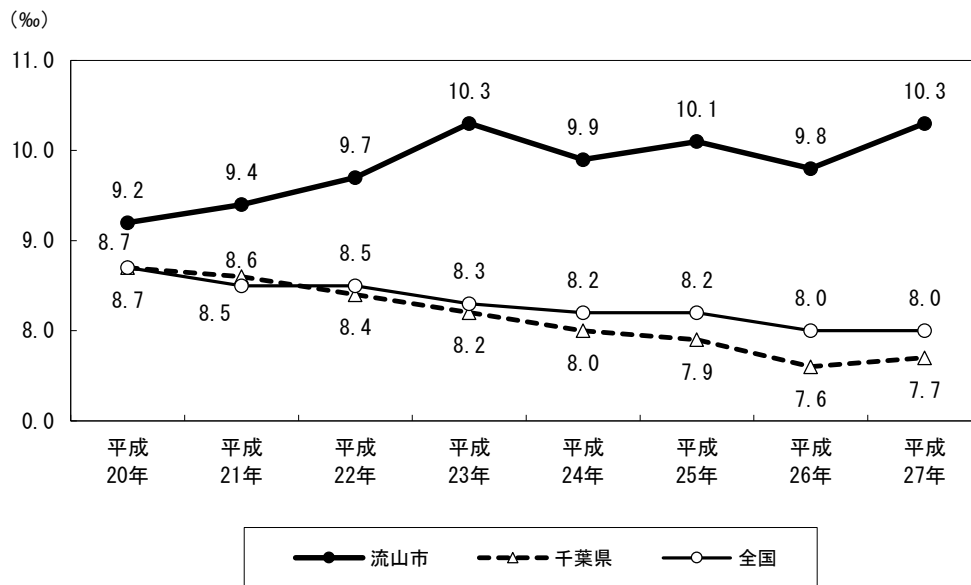
出生数の推移をみると、平成26年は減少に転じましたが、平成27年には、1,783人と再び増加し、前年度から比べると、102人も増えています。



資料：千葉県衛生統計年報（各年12月31日現在）

②出生率

出生率（人口千人あたり）の推移を県、全国と比較すると、平成27年には10.3‰（パーミル）で県及び全国を大幅に上回っています。



資料：千葉県人口動態統計（各年12月31日現在）

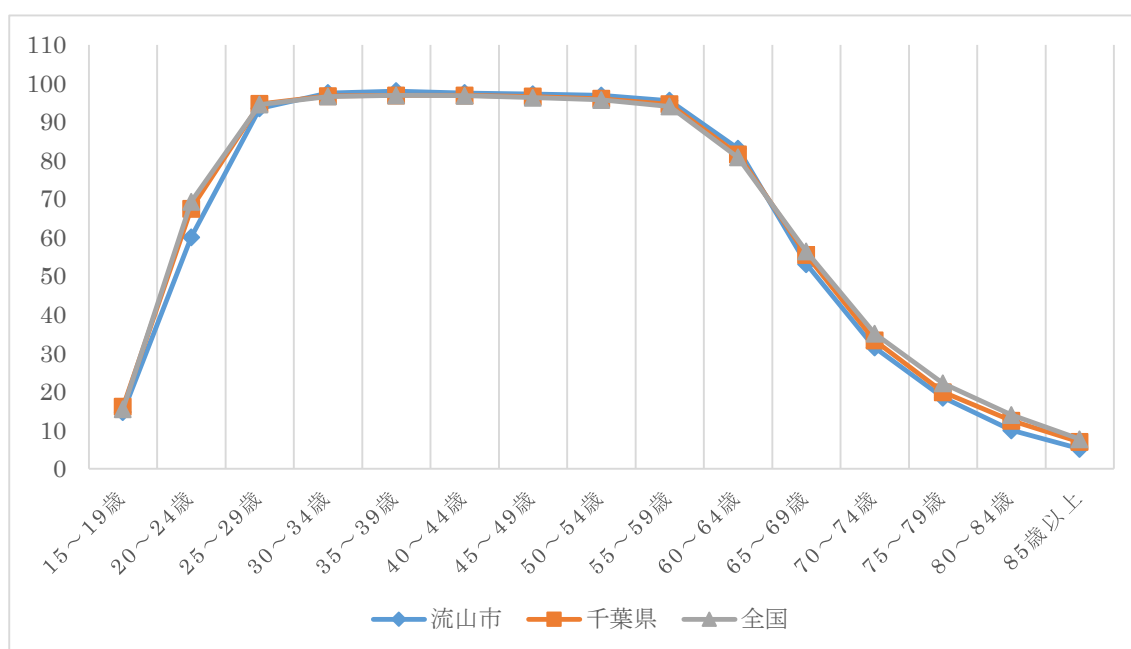
(4) 年齢別労働力率の推移と比較（男性）

国勢調査によると、平成27年時点の男性の労働力率は、主な子育て世代である35～39歳代では98%台となっており、県・全国と比べると高くなっています。

単位：%

| | 流山市 | | | | 千葉県 | 全国 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 平成27年 | 平成27年 |
| 15～19歳 | 14.1 | 16.4 | 15.2 | 14.7 | 16.1 | 15.5 |
| 20～24歳 | 57.3 | 56.2 | 58.5 | 60.1 | 67.5 | 69.3 |
| 25～29歳 | 92.9 | 89.4 | 93.7 | 93.5 | 94.7 | 94.5 |
| 30～34歳 | 96.0 | 93.7 | 98.0 | 97.5 | 96.7 | 96.6 |
| 35～39歳 | 97.0 | 94.9 | 98.5 | 98.0 | 96.9 | 96.9 |
| 40～44歳 | 97.6 | 95.6 | 98.5 | 97.5 | 96.9 | 96.8 |
| 45～49歳 | 97.4 | 95.9 | 98.1 | 97.2 | 96.6 | 96.3 |
| 50～54歳 | 97.5 | 95.8 | 98.1 | 96.9 | 96.0 | 95.7 |
| 55～59歳 | 96.2 | 94.5 | 96.4 | 95.5 | 94.6 | 94.0 |
| 60～64歳 | 74.3 | 74.9 | 82.0 | 83.1 | 81.6 | 80.8 |
| 65～69歳 | 45.8 | 47.5 | 52.0 | 53.1 | 55.5 | 56.4 |
| 70～74歳 | 25.4 | 27.9 | 31.1 | 31.5 | 33.3 | 35.1 |
| 75～79歳 | 17.2 | 17.3 | 16.9 | 18.5 | 19.9 | 22.2 |
| 80～84歳 | 12.8 | 10.8 | 11.3 | 10.0 | 12.5 | 14.0 |
| 85歳以上 | 5.4 | 6.4 | 7.6 | 5.2 | 7.0 | 7.7 |

資料：国勢調査（各年10月1日現在）



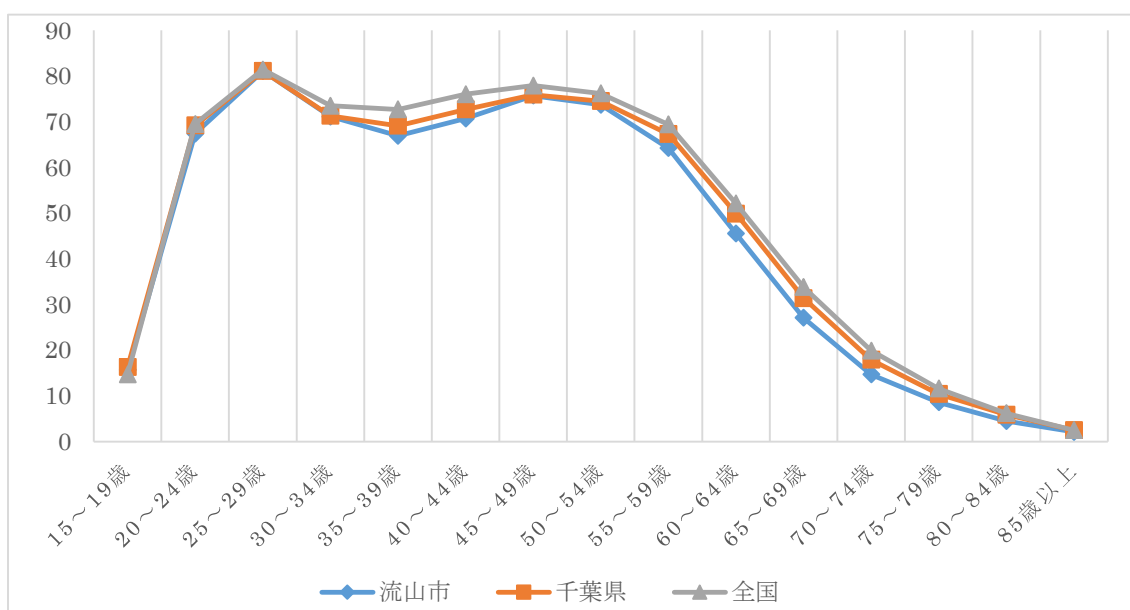
(5) 年齢別労働力率の推移と比較（女性）

国勢調査によると、平成27年時点の女性の労働力率は、県及び全国と比べると低くなっていますが、平成22年時点の労働力率と比較すると、多くの年代で増えています。

単位：%

| | 流山市 | | | | 千葉県 | 全国 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 平成27年 | 平成27年 |
| 15～19歳 | 13.7 | 17.4 | 17.2 | 15.7 | 16.3 | 14.7 |
| 20～24歳 | 66.9 | 64.3 | 68.4 | 67.4 | 69.2 | 69.5 |
| 25～29歳 | 70.0 | 72.9 | 77.8 | 81.1 | 81.1 | 81.4 |
| 30～34歳 | 49.5 | 57.9 | 64.5 | 71.1 | 71.3 | 73.5 |
| 35～39歳 | 49.7 | 54.7 | 59.9 | 66.9 | 69.1 | 72.7 |
| 40～44歳 | 57.9 | 64.3 | 66.0 | 70.7 | 72.7 | 76.0 |
| 45～49歳 | 62.0 | 68.6 | 71.8 | 75.7 | 75.9 | 77.9 |
| 50～54歳 | 56.3 | 61.6 | 68.2 | 73.7 | 74.5 | 76.2 |
| 55～59歳 | 46.2 | 51.0 | 57.4 | 64.2 | 67.3 | 69.4 |
| 60～64歳 | 29.7 | 31.3 | 40.6 | 45.5 | 49.9 | 52.1 |
| 65～69歳 | 15.4 | 18.7 | 22.1 | 27.1 | 31.4 | 33.8 |
| 70～74歳 | 10.1 | 10.3 | 12.8 | 14.7 | 17.9 | 19.9 |
| 75～79歳 | 7.3 | 7.2 | 7.8 | 8.6 | 10.4 | 11.6 |
| 80～84歳 | 3.8 | 4.8 | 6.0 | 4.5 | 5.9 | 6.2 |
| 85歳以上 | 2.1 | 1.4 | 2.3 | 2.1 | 2.5 | 2.5 |

資料：国勢調査（各年10月1日現在）



(6) 認可保育所等入所児童数（小規模保育事業所含む）

認可保育所等入所児童数は、保育所数の増加に伴い、増加傾向で推移しており、平成25年度からみますと、2,075人の増加となっています。

（単位：人）

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 公立 | 入園児童数 | 573 | 562 | 553 | 557 | 581 |
| | 保育所数 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 私立 | 入園児童数 | 1,997 | 2,303 | 2,714 | 3,038 | 3,811 |
| | 保育所数 | 22 | 24 | 30 | 36 | 45 |
| 合計 | | 2,317 | 2,570 | 2,865 | 3,267 | 4,392 |

各年度4月1日現在

(7) 認可保育所等待機児童数（国基準）

認可保育所等待機児童数は、平成28年度に大幅に増えましたが、保育所の整備を積極的に行った結果、減少に転じています。

しかしながら、待機児童の解消には至っていないため、今後も、保育所整備を行っていきます。

（単位：人）

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 平成25年度 | 6 | 22 | 13 | 14 | 1 | 1 | 57 |
| 平成26年度 | 3 | 47 | 8 | 8 | 2 | 0 | 68 |
| 平成27年度 | 3 | 30 | 10 | 4 | 2 | 0 | 49 |
| 平成28年度 | 8 | 99 | 28 | 9 | 2 | 0 | 146 |
| 平成29年度 | 4 | 50 | 34 | 2 | 2 | 0 | 92 |

各年度4月1日現在

(8) 幼稚園の入園児童数

幼稚園の入園児童数は、保育所に比べますと、緩やかな変化となっていて、平成24年度からは146人増加しています。

（単位：人）

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 公立 | 入園園児数 | 57 | 57 | 61 | 57 | 57 |
| | 幼稚園数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 私立 | 入園園児数 | 2,579 | 2,596 | 2,641 | 2,730 | 2,725 |
| | 幼稚園数 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 |
| 合計 | | 2,636 | 2,653 | 2,702 | 2,787 | 2,782 |
| 幼稚園児数 （市民数） | | 3,157 | 3,142 | 3,222 | 3,229 | 3,259 |

各年度5月1日現在

(9) 学童クラブ（放課後児童健全育成事業）入所児童数

学童クラブの入所状況は、平成25年度から9か所の学童クラブを増設し、入所児童数も619人増加しています。保育ニーズと合わせて、今後も入所希望者が増加していくことが見込まれます。（単位：人）

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入所児童数 | 896 | 1,061 | 1,244 | 1,303 | 1,515 |
| か所数 | 18 | 21 | 23 | 24 | 27 |

各年度4月1日現在

(10) 小学校・中学校の状況

在学者数の状況は、小学校、中学校とも増加傾向で推移し、保育所と合わせて、特に小学校児童数が急増しています。（単位：人）

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小学校 | 児童数 | 8,823 | 9,004 | 9,237 | 9,565 | 9,950 |
| | 学校数 | 15 | 15 | 15 | 16 | 17 |
| 中学校 | 生徒数 | 3,807 | 3,907 | 3,912 | 4,042 | 4,150 |
| | 学校数 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 |

資料：学校基本調査（各年度5月1日現在）

2、計画の基本理念

「子どもの最善の利益が実現され
すべてのこどもが健やかに育ち
地域全体で子育てできるまち 流山」

子どもの最善の利益が実現され、すべての親たちが子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような社会を築いていくことが求められています。

少子化の進行、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、待機児童問題など、様々な課題を抱える中で、次代を担うすべてのこどもが健やかに育つためには、家庭での子育てを基本としながらも、地域社会全体で子育て家庭を支えていく必要があることが鮮明となっています。

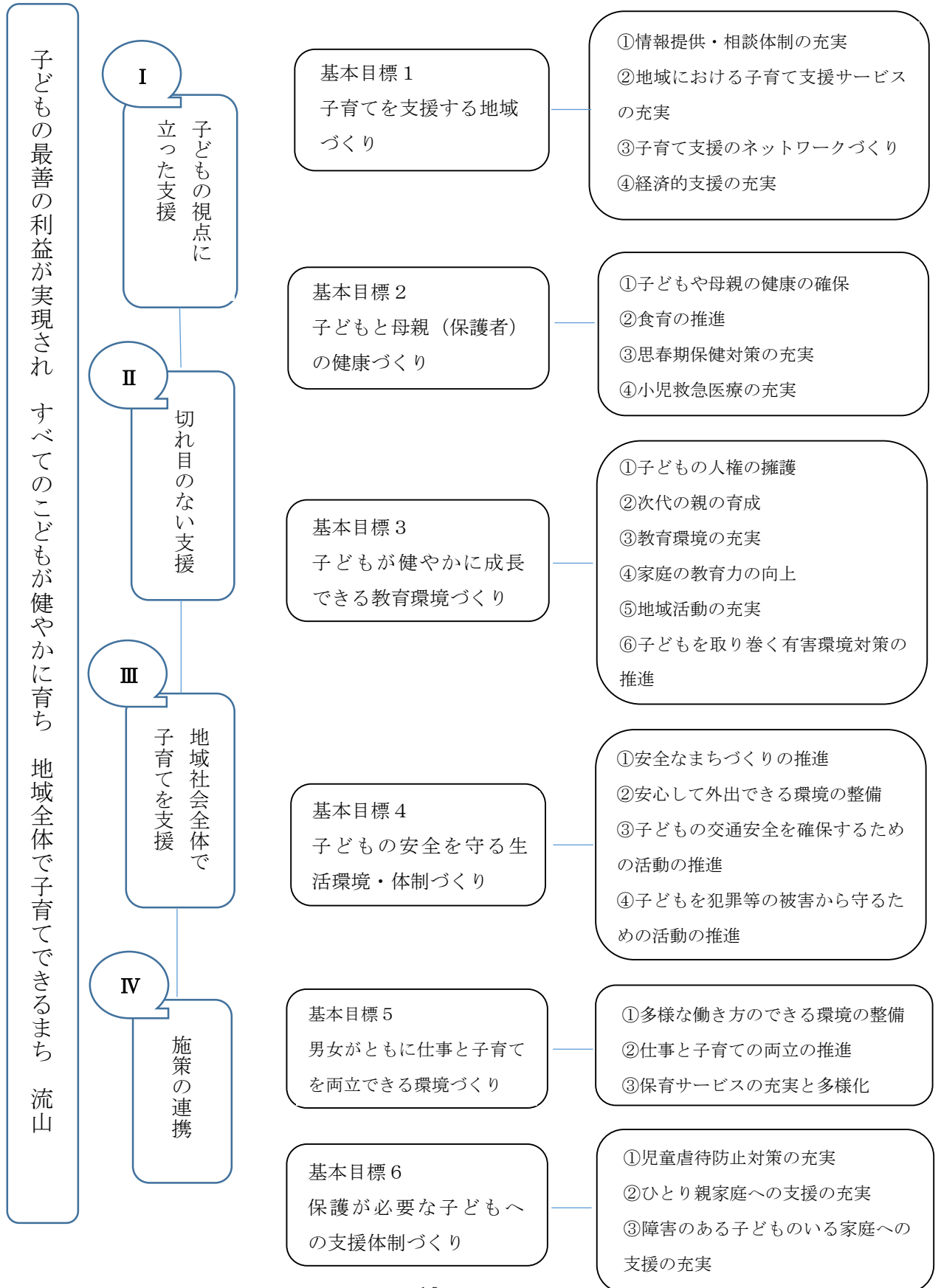
本市は、すべてのこどもと親が笑顔で過ごすことができ、各家庭が地域社会と連携、協力をしながら安心してこどもを産み育てられる社会を実現するため、これを基本理念として、子育て支援の施策を推進します。

(基本理念)

(基本的視点)

(基本目標)

(主要課題)



3、施策の展開

本計画では、次世代育成支援行動計画（後期計画）の評価結果や、ニーズ調査、パブリックコメントなどの意見を生かしながら、様々な子育て支援施策を展開します。

<重点的取組み事業>

| | 基本目標 | 事業名 |
|---|---------------------------------|-----------------------|
| 1 | 子育てを支援する 地域づくり | 子育て及び家庭教育情報の提供 |
| | | 子育て支援総合窓口事業（新規） |
| | | 保育所 |
| | | 送迎保育ステーション |
| | | 地域子育て支援センター |
| | | 幼保一元 |
| | | 学童クラブ施設 |
| | | 療育施設 |
| 2 | 子どもと母親（保護者） の健康づくり | ファミリー・サポート・センター |
| | | 乳幼児健康診査 |
| 3 | 子どもが健やかに成長 できる教育環境づくり | 養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 |
| | | 相談・カウンセリング |
| | | 幼児教育に関する研究・研修 |
| 4 | 子どもの安全を守る生 活環境・体制づくり | 家庭教育講座 |
| | | 公園の整備・充実 |
| | | 防犯対策の充実 |
| 5 | 男女がともに仕事と子 育てを両立できる環境 づくり | 関係機関、団体との情報交換 |
| | | 延長保育 |
| | | 病児・病後児保育 |
| | | 障害児保育 |
| 6 | 保護が必要な子どもへ の支援体制づくり | 学童クラブの活用 |
| | | 虐待に関する相談の充実 |
| | | 児童虐待防止のための連携強化 |
| | | ひとり親家庭相談 |
| | | 療育指導・機能訓練 |

4、計画の推進体制

各事業は、福祉、保健、医療、教育、商工労働、まちづくりなど広範囲にわたり、それぞれが連携をとりながら基本理念に沿った事業を展開することが必要です。そのためには、目標を達成するために庁内の連携、また、地域や NPO、企業と連携を図りながら、計画を推進していきます。

また、実効ある計画とするため、アウトカム評価の実施や庁内体制の整備のほか、PDCA サイクルにより進行管理を行うこととし、計画の進捗状況を定期的に「流山市子ども・子育て会議」に報告し、チェックを受けるものとします。